

UTR-SHR201 上位インターフェース選定ガイド

タカヤ株式会社

事業開発本部 RF事業部

2021年10月8日

UTR-SHR201 上位インターフェース概要

●インターフェースの種類と概要

上位インターフェース	対応OS			STATE LED (未接続)	概要
	Windows	Android	iOS		
USBモード	○	—	—	消灯	インターフェース設定の変更 USBリーダライタとして使用
Bluetooth マスターモード	○	○	—	高速/緑点滅	ハンディから上位に自動接続
Bluetooth スレーブモード	○	○	—	低速/緑点滅	上位からハンディに接続
Wi-Fi クライアントモード	○	○	○	高速/赤点滅	アクセスポイント経由で ハンディから上位に接続
Wi-Fi サーバーモード	○	○	○	低速/赤点滅	アクセスポイント経由で 上位からハンディに接続
Wi-Fi アクセスポイントモード	○	○	○	低速/橙点滅	上位とハンディが Wi-Fiでダイレクトに接続

●インターフェースの変更方法(2種)

【変更方法A】

設定ツール「TR3IFBTool」を使用してインターフェース、各種設定値を変更する

【変更方法B】

UTR-SHR201のボタン操作でインターフェースを選択する(※設定値は変更できない)

- ・トリガーボタンを押したまま本体を起動(設定モードで起動)
- ・本体右側面の「△/▽ボタン」でインターフェース切り替え(STATE LEDで確認)
- ・トリガーボタン長押し(2秒)でインターフェース変更(変更後に通常モードで再起動)



UTR-SHR201 上位インターフェース詳細

上位IF	接続モード	接続処理	アクセス ポイント	STATE LED (真ん中のLED)		事前準備	接続方法	
				上位機器接続待ち	上位機器接続中		対応アプリ	接続方法
USB	-	上位→ハンディ	不要	消灯	消灯	不要	UTRRWManager (Windows)	上位からCOMポートをオープン
Bluetooth	マスターモード	ハンディー→上位	不要	高速緑点滅	緑点灯	Bluetoothのペアリング処理 (COMポート割当) ※ペアリングはスリープモードで実施	UTRRWManager (Windows)	上位はCOMポートをオープン後 Bluetoothからの接続待ち ※Bluetooth設定を確認し 「発信」側のCOMを指定
	スリープモード	上位→ハンディ	不要	低速緑点滅	緑点灯	Bluetoothのペアリング処理 (COMポート割当)	UTRRWManager (Windows)	上位からCOMポートをオープン ※Bluetooth設定を確認し 「発信」側のCOMを指定
Wi-Fi	クライアントモード (ステーションモード)	ハンディー→上位	必要	高速赤点滅	赤点灯	TR3IFBToolを使用し、アクセスポイントの設定 (SSID、パスワード設定)が必要 自身のIPアドレスも固定で設定することを推奨	UTRRWManager (Windows) UTR Handy Demo (iOS)	上位アプリから以下の設定で接続処理 をおこなう ※UTRRWManagerの接続設定 ・動作モード：クライアント ・ポート番号：ハンディ接続先設定
	サーバモード (ステーションモード)	上位→ハンディ	必要	低速赤点滅	赤点灯		UTRRWManager (Windows) UTR Handy Demo (iOS)	上位アプリから以下の設定で接続処理 をおこなう ※UTRRWManagerの接続設定 ・動作モード：サーバ ・IPアドレス：ハンディ側IP ・ポート番号：ハンディ側ポート
	アクセスポイントモード (サーバ接続のみ)	上位→ハンディ	不要	低速黄点滅	黄点灯	PCのWi-Fi接続メニューから 「UTR-SHR201(****)」を選択して Wi-Fi接続しておく	UTRRWManager (Windows) UTR Handy Demo (iOS)	上位アプリから以下の設定で接続処理 をおこなう ※UTRRWManagerの接続設定 ・動作モード：サーバ ・IPアドレス：192.168.0.1 (固定値) ・ポート番号：9004 (固定値)

UTR-SHR201の上位インターフェースは、接続する上位端末のOSや、接続するネットワーク構成に合わせて選定してください。

